かんえいぎょうこうみやこのはなやぎ

演題『寛永行幸都華麗』

本年は、後水尾天皇が二条城へ行幸された「寛永行幸」から四百年の年にあたります。朝廷と江戸幕府の融和と平和な世の到来を示す一大行事でした。本年の都をどりは、その行幸を記念するとともに、後水尾天皇ゆかりの「寛永文化」に思いをはせる構成にしております。

第一景 置歌（おきうた）［銀襖］ 長唄

全景を説明する序曲となる景です。京舞井上流創始とかかわる公家御殿のしつらい、銀襖を背に芸妓舞妓が揃いの浅葱色の衣裳で華やかに舞います。「ヨーイヤサァー」の掛け声で始まる構成は初演から変わりません。

第二景 月ヶ瀬梅林逍遥（つきがせばいりんそぞろあるき）［月ヶ瀬梅林］ 長唄

都をどりの梅の場となる背景は、その年の恵方を意識して作られています。本年の恵方は南南東で、その方角にある月ヶ瀬梅林を背景にしました。約1万本の梅が咲き誇る渓谷に思いを馳せていただければ幸いです。

第三景 後水尾天皇饗応絵巻（ごみのおてんのうきょうおうえまき）［二条城御殿・前庭］ 長唄

「寛永行幸」で江戸幕府二代将軍だった徳川秀忠と三代将軍家光が二条城で後水尾天皇をもてなした饗応の一場面を表現しています。十日間にわたる行幸で披露された芸能のうち蹴鞠と舞楽を取り上げています。

第四景 楊谷寺紫陽花花手水（ようこくじあじさいはなちょうず）［柳谷観音楊谷寺］ 長唄

柳谷観音楊谷寺は、眼病平癒の祈願所として信仰され、後水尾天皇の皇子である霊元天皇が、寺の湧水で目を洗ったところ眼病が治癒したと伝わります。紫陽花の名所、花手水発祥の寺としても知られています。

第五景 土蜘蛛頼光館（つちぐもらいこうやかた）［源頼光館］ 浄瑠璃

一転して能「土蜘蛛」にちなんだ怪しく勇壮な舞台にしております。源頼光が館で病に伏せているところにどこからともなく現れた女たちの正体は土蜘蛛の精。あでやかな女入から土蜘蛛へと変身する様は見どころの一つです。

第六景 修学院紅葉折枝（しゅうがくいんもみじのおりえだ）［修学院］ 長唄

修学院離宮は、後水尾上皇が比叡山西南麓に自分好みに造営された山荘です。広大な借景庭園の中でさまざまな遊びが行われましたが、最も楽しまれたのは浴龍池での舟遊び。修学院離宮の壮大な秋景色が広がります。

第七景 雪神泉苑龍神水（ゆきのしんせんえんりゅうじんのみず）［神泉苑］ 長唄

神泉苑の法成就池の脇には空海が雨乞いのために北天竺から勧請した善女龍王の社があります。雪の中、若い男女が恋の成就を願って社に詣でると、善女龍王が願いを聞き入れたことを告げて舞う舞台になっています。

第八景 二条城桜吹雪（にじょうじょうさくらふぶき）［二条城庭園］ 長唄

本年「都をどり」の締めくくる場面は二条城。「寛永行幸」の時に桜があったかどうかは不明ですが、現在は約五十品種、約三百本が植えられている桜の名所です。その満開の桜の下で華やかなフィナーレを迎えます。

阿闍梨餅本舗
祇園 辻
京都市左京区鞠小路通今出川上ル
電話 (075)791-4121番(代)

千枚漬本家 創業慶応元年
宮内庁御用達 大藤
京都・麩屋町錦下ル TEL075(221)5975
http://www.senmaidukе.com/

創業明治17年 SINCE 1884
京名物 東川豆菓子 各種
京の豆菓子 名種
豆 MAMEMASA
京都市中京区夷川通柳馬場西入 6-264
https://www.mamemasa.co.jp / 電話 075-211-5211

京名物 七味唐がらし
薬味商標 七味家
清水寺参道
京都市東山区清水二丁目221 電話 075-551-0738

つぶあん入り 生ハッ橋
聖護院ハッ橋総本店
京都市左京区聖護院山王町六 電話 075(761)5151

一保堂茶舗
IPPODO TEA
京都市中京区寺町通二条上ル ☎075-211-3421

MIYAKO ODORI / April 1st～30th, 2026

令和8年 4月1日(水)▶30日(木)

会場 Venue 祇園甲部歌舞練場 京都市東山区祇園町南側570-2 The Gion Kobu Kaburenjo

主催／学校法人八坂女紅場学園・祇園甲部歌舞会　協力／公益社団法人京都市観光協会

期間 PERIOD

令和8年 4月1日(水)▶30日(木) April 1st～30th, 2026

公演 RUNNING TIME

第1回目 1st	第2回目 2nd	第3回目 3rd
12:30～	14:30～	16:30～

1日3回公演 3shows per day
公演時間60分 Running Time 60min

料金 PRICE

- ●茶券付一等観覧券……7,000円
  ※お茶席は開演1時間前より始めております。開演40分前までにご来場ください。
- ●一等観覧券……6,000円
- ●二等観覧券……4,000円
- ●学生券（二等観覧券）……2,000円
  ※中・高・大学・専門学校・高等専門学校の学生、保護者同伴の小学生以下の方が対象です。中学生以上の方は当日学生証をご持参ください。

チケット発売中　Tickets On Sale Now

※車椅子でお越しの方は、ご予約・お問合せ時にご相談ください。

オンライン申込 ONLINE RESERVATION

都をどり 検索

右記QRコードよりチケット購入サイトにアクセスできます。

Please reserve and purchase a ticket from the official Miyako Odori website.

Miyako Odori Search www.miyako-odori.jp

チケットのご予約・お問合せは（お電話での購入も可能です）

TEL075-541-3391（代表） 受付時間／午前10時～午後5時［日・祝休み（3月20日～無休）］

アクセス ACCESS

祇園甲部歌舞練場 The Gion Kobu Kaburenjo

※写真は前回の公演より

「都をどり」とは

都をどり

MIYAKO ODORI

「都をどりはヨーイヤサァー」の掛け声で始まる「都をどり」は、明治5年(1872)に創始され、150余年の歴史を重ねてまいりました。祇園甲部歌舞練場(1913年竣工)特有の両花道から揃いの浅葱色の衣裳で踊り子が登場する幕開けから、約1時間の上演中は幕を一度も下すことなく、全八景で春からその次の春へと四季を巡り、一幕ごとに日本全国の名所旧跡や古典文学を題材とした多彩な場面が展開されます。初演以来、毎年新作を上演し、その年ごとに衣裳をはじめ舞台美術に至るまで趣向を凝らした舞台を創り続けております。祇園甲部の芸妓舞妓が日替わりで総出演し、舞、三味線、囃子で舞台を華やかに彩ります。ご贔屓の方々はじめ、国内はもとより海外からも多くの観光客の皆さまにご来場いただいております。芸妓舞妓の磨き抜かれた伎芸が息づき、世代を超えて人々を魅了してきた京都の春を彩る華やかなひとときを、どうぞご堪能ください。

Miyako Odori : 150years and into the future as a symbol of Spring in Kyoto

The Miyako Odori, which begins with the unique chant 'Miyako Odori wa Yo-i Yasaa', was established in 1872 and has been performed for over 150 years. The performance runs for about an hour without a single curtain drop, unfolding through eight scenes that trace the seasons from spring to the following spring. Each scene incorporates famous historical sites and classical literature from across Japan. A new work is created every year, and each production is crafted with scrupulous attention to detail, from the costumes to the stage design. Geiko and maiko of Gion Kōbu appear in rotation, bringing the stage to life each day with dance, shamisen, and traditional musical accompaniment. The performance attracts audiences from throughout Japan and around the world. Please enjoy this splendid celebration of Kyoto's spring.

「立礼式」のお茶席で一服を愉しむ

裏千家十一世玄々斎千宗室が考案したテーブルと椅子を使って行われる茶道点前「立礼式」が初めて一般に披露されたのは明治5年「都をどり」のお茶席からでした。正座が困難な外国からの賓客をもてなすために誕生した点前です。「都をどり」ご観覧前に芸妓舞妓の優美な所作をご覧いただきながら、お菓子とお抹茶をお召し上がりください。つなぎ団子の模様があしらわれた菓子皿は、ご来場の記念としてお持ち帰りいただけます。古くから続くこのお点前を楽しまれることで、「都をどり」の魅力をいっそう深く味わっていただけます。

A moment of bliss in a Rurei-style tea ceremony

The ryūrei-style tea ceremony, using a table and chairs, was created to accommodate and welcome foreign guests. It was first presented to the general public in 1872 at the tea gathering of the Miyako Odori.Before enjoying the performance, please savor traditional sweets and a bowl of matcha. Our original dessert plate is yours to take home as a souvenir. The performance that follows the tea ceremony will be all the more special.

※お茶席は1時間前より行っております。お茶席へはご予約いただいた公演の開演10分前までにご入場ください。お茶席はご購入いただいた回の前にのみご利用可能です。観覧終了後やご購入いただいた回以外にはご利用いただけません。

The tea ceremony will begin one hour before the performance starts, so participants for the tea ceremony, please arrive 40 minutes before the start of the performance. Please note that there will be no tea ceremony after the performance."

京舞井上流と祇園甲部

京舞井上流は18世紀末に近衛家へ出仕していた初世井上八千代によって創始されました。二世井上八千代が私淑した能楽や人形浄瑠璃などを取り入れながら女性のみで伝承されてきました。現在は五世井上八千代が振り付けをしております。都をどり初演時に一力亭九代当主、杉浦治郎右衛門と三世井上八千代との間で交わされた「祇園甲部の舞は井上流のみとする」との約束から、祇園甲部と京舞井上流の関係が今日まで受け継がれています。

Kyomai Inoue School and Gion Kobu

Kyomai Inoue School was founded in the late 18th century by the first Yachiyo Inoue, who served the prominent noble Konoe family of the time. The second Yachiyo Inoue later integrated elements from Noh theater and Bunraku puppet theater into the school's repertoire and the tradition was carried on only by women. Today, the fifth Yachiyo Inoue is responsible for the choreography of the Miyako Odori. The dances of Gion Kobu are performed exclusively by the Kyomai Inoue School.

祇園甲部歌舞練場

1913年に「都をどり」のために建てられた和風総檜造の大劇場で、国の登録有形文化財になっています。舞台には両花道があり、左右が広く奥行きが深いのが特徴です。敷地内には池泉回遊式庭園が広がり、桜をはじめ四季折々の彩りをご覧いただけます。

Gion Kobu Kaburenjo

Built in 1913 for the Miyako Odori, this grand theater is constructed in a traditional Japanese architectural style. The stage features hanamichi walkways on both sides and is characterized by its generous width, allowing for dynamic performances. A traditional strolling pond garden spreads across the grounds, showcasing seasonal beauty throughout the year, including cherry blossoms in spring.

本館劇場客席

池泉回遊式庭園

第八景(フィナーレ)